

昭和40年度大会および例会の予定

6月以降12月までに行なう予定の大会および例会は次のとおりです。なお数グループ合同のシンポジウムは計画のつど揭示します。

6月 「乱流」「山の気象」「高層気象」

8月 「夏季講演会」「気象学史と教育」

9月 「生気候(会場名古屋市)」

10月 「気象災害」「気象統計」

11月 「秋季大会」「風のシンポジウム」

7月と12月は予定がありません。1月以降は未定です。なお、8月下旬に予定されている夏季講演会(下欄

参照)は3月に行なった春季講演会と同じく、春季および秋季大会を補足し、広い分野の多くの人々が集って研究発表に対して十分な討論を行なうことを目的とするものです。春秋の大会に多数の研究発表が集中するため講演、討論ともに極めて短かい限られた時間しか取り得ない現状を認識されて、研究発表の本来の意義を生かすために夏季講演会を活用されるよう望みます。大会に準じて天気5月号に講演申込用紙を綴込み7月上旬を講演申込締切にする予定です。

6月月例会講演申込

主 題: 乱 流 会 場: 気象庁内

会 期: 6月25日(金) 13時より

申込先: 東京都千代田区大手町1-7

気象庁観測部測器課 竹内清秀

主 題: 山の気象シンポジウム

会 期: 6月5日(土) 13時より

会 場: 気象庁第1会議室

第1部 研究発表

山の地域的な気象に関する研究報告

(北アルプス、関西の山、東北の山、その他)

第2部 今冬の雪山遭難についての研究報告

(荒川岳、甲斐駒、横尾本谷、四国剣山、その他)

主 題: 高層気象—IQSY 期間中の特殊ゾンデ

観測とその結果についてのシンポジウム

会 期: 6月12日(土) 10時より、

会 場: 気象庁第1会議室

話題提供者: 小林寿太郎(気研)

内川 規一(気象庁)

関口 理郎(//)

矢田 明(//)

日本気象学会夏季講演会のお知らせ

1. 期 日: 8月27日(金) 10時~17時

2. 場 所: 東京都千代田区大手町 気象庁

3. 研究発表募集

1) 締 切: 7月10日必着

2) 申込先: 東京都千代田区大手町

東京管区気象台調査課 河村 武

3) 用 紙: 天気 Vol. 12, No. 5 に綴込の用紙に記入のこと。